

「後期高齢表在食道癌患者に対する内視鏡治療後長期成績の 検討」へご協力をお願い

ー内視鏡切除後に表在食道癌の診断を受けられた方及びそのご家族の方へー

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 岡山大学病院長 前田 嘉信

責任研究者 岡山大学病院 消化器内科 助教 川野 誠司

1. 研究の意義と目的

本邦における高齢化は年々進行しており、高齢表在食道癌患者を診断・治療する機会は増加しており、特に表在食道癌に対して低侵襲で根治を得ることができる内視鏡治療は、高齢者の食道癌死を防ぐために重要な役割を担っていると考えられます。これまでに、高齢表在食道癌患者に対して内視鏡治療が有用であるという報告がありますが、実臨床における高齢表在食道癌患者に対する内視鏡治療の適応は、身体・認知機能、併存疾患、栄養状態などの患者背景の問題から判断に難渋することが多いのが現状です。

本研究を行うことで、高齢表在食道癌患者に対する内視鏡治療後の長期予後を明らかにすることができ、将来的に表在食道癌の高齢者患者様の内視鏡治療の適応を決める上で役立つことが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

岡山大学病院の病理部データベースをもとに検索し、2005年1月1日から2023年3月31日までに内視鏡切除標本にて病理学的診断がなされた表在食道癌200人の75歳以上の高齢患者様を対象とする予定です。

2) 研究期間：

研究機関の長の許可日～2025年3月31日

研究開始日を情報の利用開始する予定日とします。

3) 研究方法：

表在食道癌の患者様の年齢、性別、家族歴、既往歴、主訴、基礎疾患、血液検査データ、内視鏡検査やCT検査を含む画像検査結果、手術記録、病理組織データ、治療内容、治療後の経過について検討します。

本研究では対象となる患者さんの診療情報を用います。本研究では対象となる患者さんの、日常診療で実施される検査項目の結果のみを用います。

4) 使用する情報

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日など、ただちにあなたを特定できる情報は削除します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

表在食道癌の患者様の年齢、性別、家族歴、既往歴、主訴、基礎疾患、血液検査データ、内視鏡検査やCT検査を含む画像検査結果、手術記録、病理組織データ、治療内容、治療後の経過。

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院消化器内科医局内で保存させていただきます。

6) 外部への情報の提供

外部への情報提供は、一切、致しません。

7) 情報の保護

調査情報は岡山大学病院消化器内科医局で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（親権者又は未成年後見人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学病院 消化器内科 TEL 086-235-7219(平日 8:30~17:15 のみ対応可能)

担当：松枝 克典

<研究組織>

研究代表機関 岡山大学

研究代表責任 岡山大学病院 消化器内科 講師 川野 誠司